

区自治協議会提案事業 事業評価書 (案)

西蒲区自治協議会(総務部会)

区 分	内 容
テーマ・事業名	<p style="text-align: center;">住みよい・豊かな・活力あるまちづくり 【事業費予算 800千円】</p>
事業目的・概要	<p>【目的】 「観光とスポーツ・レクリエーションのまち」「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指すために、総務部会が所管する分野(防犯・防災、公共交通、教育、文化、スポーツなど)の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取組を進めます。</p> <p>【概要】 防災朗読劇や防災フォーラム等を通じて、防災情報の大切さや、災害時に正しい情報を見極めるポイントなどについて学び、防災に対する意識を高める。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>事業名 「防災朗読劇」 日時 令和8年3月1日(日)午後2時から午後3時30分 会場 西川多目的ホール 内容 第一部 防災朗読劇 演題: メディアリテラシー朗読劇「職員室！」 出演: BSNアナウンサー 第二部 防災フォーラム 演題: 防災士ワンポイントアドバイスなど 主演: BSNアナウンサー、新潟市防災士の会西蒲区支部員 西蒲区自治協議会委員 その他 防災展示ブース 会場のエントランスにて西蒲区のハザードマップや備蓄品など 防災啓発の展示</p> <p>対 象 どなたでも 参 加 者 160名</p> <p>【アンケート結果】 提出数: 153件(提出率: 96%) ・防災朗読劇の感想: 「とても良かった」・「良かった」の合計91% ・防災フォーラムの感想: 「とても良かった」・「良かった」の合計90% ・防災展示ブースの感想: 「とても良かった」・「良かった」の合計80%</p> <p><主な意見> ・アナウンサーの方たちと楽しく防災について学べて良かった。 ・防災用品やローリングストックについて考える良い機会となった。 ・防災士の具体的な事例に基づく説明がとても良かった。 ・今日学んだことを家族と共有し、災害時に落ち着いた行動がとれるようにしたい。</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【成果】 ・朗読劇を通じて「防災」と「メディアリテラシー」について考える機会を提供できた。 ・テレビ局アナウンサーの表現力や会場が盛り上がる工夫がなされたことによりイベント内容が分かりやすく来場者に伝えられた。 ・災害時の備蓄品やハザードマップの見方などパネラーと来場者がやり取りを行いながら、防災の取り組みなどを学び、知識を深める機会を提供できた。 ・アンケートの結果から、日頃から防災を意識している人が6割を超えており、備蓄品の用意や地域の訓練に参加するなど具体的に行動していることが分かった。 ・総務部会では継続的に防災啓発事業を実施してきており、来場者の反応から着実に意識啓発が進んでいると感じられた。</p> <p>【課題】 ・今後も防災意識の向上につなげるため、継続的な取り組みや働きかけが必要である。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書（案）

西蒲区自治協議会（保健福祉部会）

区 分	内 容
テーマ・事業名	<p>あたたかな人の和でつながるまちづくり 【事業費予算 800千円】</p>
事業目的・概要	<p>【目的】 高齢者への支援・支え合いの啓発事業を行い、「あたたかな人の和でつながるまち」を目指します。</p> <p>【概要】 高齢化に伴う高齢者世帯（一人暮らしの高齢者を含む）の増加により、通院・買い物等に支障が出てきている。一方で、地域でボランティア輸送など取り組みたくても、事故や経費等ハードルが高いのが現状。コミュニティ協議会などの地域を対象に、先進事例の勉強会を行い、具体的な取り組みを考え始める時に役立つことを還元する。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>「地域における高齢者の移動支援」勉強会 ■日程:①令和7年12月4日(木)、②令和7年12月18日(木) ■会場:西川地区公民館 講堂 ■講師:①庄瀬地域コミュニティ協議会、巻地区コミュニティ協議会まちなか微助っ人クラブ、潟東西部地区ささえ愛ネット ②中之口地区コミュニティ協議会、西蒲区支え合いのしくみづくり ■参加者:①39名、②36名(内訳:区内コミュニティ協議会、社会福祉協議会、支え合いの仕組みづくり推進員、地域包括支援センターなど)</p> <p>【参加者アンケートの結果】 有効回答率①88.9%、②72.2% ・勉強会の満足度(大満足・満足①82.5%、②69.2%) ・身近な高齢者は買い物や通院などの移動に困っているか(はい65.0%) ・移動支援は身近に行われているか(いいえ65.0%) ・地域が主体となって実施する「高齢者への支援・支え合い」は住んでいる地域で必要か(①90.0%、②96.1%) ・移動支援を立ち上げてみたいと思うか(①37.5%、②61.5%) ・移動支援の立ち上げにあたり心配なこと ・一緒に運営する仲間が集まるかどうか(①55.0%、②57.6%) ・事故が心配(①50.0%、②30.7%) ・運営費が心配(①35.0%、②46.1%) ・どうやって立ち上げるか(①12.5%、②7.6%)</p> <p>【主な感想】 ・実施している方から事例を具体的に聞くことができ、立ち上げや実施のイメージが湧いた。 ・事例ごとに手法の違いがあった。参考にして、自分の地域に適した方法を見出したい。 ・このような情報交換会が定期的にあるとよい。</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【効果】 ・当日の活発な質疑応答や、参加者のアンケート結果・感想からも満足度の高い勉強会を実施することができた。 ・参加者アンケートから、実施にあたっての不安点を把握できた。 ・勉強会を通じて、参加者が移動支援の具体的な取組を考え始める時に役立つことを還元できた。実際に動き出しているコミュニティ協議会もあり、地域の機運を高めることができた。</p> <p>【課題】 ・移動支援は難しい取組であり、アンケート結果からも、支援をする仲間集めや事故を起こしてしまった時の対応、運営経費への不安は残っているため、支援の立ち上げを希望する団体への継続的なサポートが重要。 ・引き続き、行政をはじめとする地域の関係機関や地域が連携し、事故対応などの不安に対してどんなサポートができるのかを整理しながら取り組んでいく必要がある。</p> <p>【今後に向けて】 ・移動支援をはじめとする生活支援の立ち上げや実施のために情報交換する場合は、定期的に開催することで不安解消やヒントを得られるだけでなく、高齢者への支援・支え合いの啓発にもつながるため、次期へ引き継ぐ。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書 (案)

西蒲区自治協議会(まちづくり・産業部会)

区 分	内 容
テーマ・事業名	にぎわいと活力があふれるまちづくり 【事業費予算 800千円】
事業目的・概要	<p>○にしかん応援隊(ボランティア制度)</p> <p>【地域課題】 イベント等における担い手不足、地域間交流の不足</p> <p>【目的】 持続可能な地域となるためには、担い手の確保と、地域の宝や豊かさ(イベントなど)をPRして他の地域に知ってもらい、地域間交流を行っていくことが大切。</p> <p>各地域で行われているイベントへの参加や協力を通じて、様々な地域への理解と交流を深められる仕組みづくりとして「にしかん応援隊(ボランティア制度)」を創設し、これを一つのツールとして地域に活用を促すことで「人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち」を目指す。</p> <p>【概要】 コミュニティ協議会や商工会、観光協会などが行う地域のイベントにおいて「にしかん応援隊(ボランティア制度)」を活用することができ、市民をスタッフとして募集できる。地域の人との交流や関係づくりから始まる将来的な担い手の発掘や、地域のイベントのPRとしても活用できる。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>○「にしかん応援隊」 <制度概要> コミュニティ協議会などから「応援隊募集シート」を提出してもらうことで、募集情報を西蒲区役所公式インスタグラムや「にしかん応援隊」LINE公式アカウント、市のホームページに掲載することにより、地域のイベントをお手伝いしたい人(応援隊)と、人手不足で困っている地域団体(受入団体)とをマッチングさせる。</p> <p><対象> 【応援隊】地域内外のイベントに関わってみたい人、お手伝いしたい人(市民) 【受入団体】地域のイベントで人手不足で困っている団体(コミュニティ協議会等の地域団体)</p> <p><実績> ・14イベントにおいて制度を活用いただき、延べ35人が参加した。 ・アンケートからは「地域の人と交流ができてよかった」「これまで行ったことがなかった地域のイベントを知ることができ、行くきっかけとなった」「イベントの運営側として関わることができ、地域をより深く知ることができた」などの意見があった。 ・募集団体側からは、「人手不足で困っていたので助かった」「応援隊がいることで、スタッフの士気が上がった」といった好意的な意見の他、「初めてだったため応援隊をうまく活用できなかった」「通常よりも気をつかうなど、負担が増えた」などの意見もあった。</p>

	<p>○「コミ協応援隊伴走支援チーム」 <概要> 応援隊制度の更なる活用に向けて、部会委員で伴走支援チームを結成し、3チームに分かれて募集シートの書き方など、各地域のコミュニティ協議会を支援した。 ※10月～12月にイベントを実施予定のコミュニティ協議会を対象に実施。</p> <p><支援内容> ・これまでのノウハウを提供し、募集シートの書き方、周知の仕方、応援隊の活用の仕方などについて一緒に考えた。</p> <p>○「にしかん応援隊活用セミナー」 <概要> 当部会がこれまで得た知見などを地域(コミ協など)へ還元し、応援隊制度の必要性を理解してもらい、応援隊制度の活用を促すとともに、持続可能な地域の体制づくりに向けて地域のマインドチェンジを促す。</p> <p>■日時:令和8年2月25日(水)午前10時～10時30分 ■会場:巻地区公民館 3階 小ホール ■対象者:コミュニティ協議会、商工会、観光協会など ■参加者:24名 ■参加者理解度:77%(アンケートより)</p>
<p>事業の評価</p> <p>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</p>	<p><成果> ・参加者が応援隊をきっかけとして、地域を知るきっかけとなった。 ・運営側は応援隊の募集を通じて、地域のイベントのPRにつながった。 ・コミ協などに対して今一度応援隊制度の必要性について理解をいただき、それぞれが持続可能な地域の体制づくりについて考えるきっかけを作ることができた。</p> <p><課題> ・徐々に制度は浸透してきているが、まだPR不足。 ⇒今年度検討したデザイン案を基に、次年度はポスターとリーフレットを作成して更なる活用に向けた周知を行う。 ・応援隊はイベントの主力ではなく、あくまで補助要員。また、応募者と募集側がお互い負担にならない業務内容となるとよい。そういった制度内容の更なる周知が必要。 ⇒年1回セミナーを開催してもいいのでは。また、対象事業の線引きなど改めて整理を行う。 ・応援隊制度の仕組みづくりをしっかり行い、自治協議会提案事業として終了した後も行政や他の団体などに引き継げるようにしていきたい。</p>
<p>備考</p>	